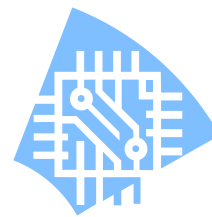


「Digital Storytelling」手法を利用した日本語学習環境 —明日の授業で使えるデジタル教材作成—



この研修では、「Digital Storytelling」とは何か、デジタル教材ではどのようなことができるかといった理論的な話を踏まえた上で、実際に Digital Story を設計・作成することによって、明日の日本語教育の現場でどのように活用できるかについて皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

◆日時：2009年5月16日（土）10：00～17：00

09:45-10:00	開会
10:00-11:00	講座 「Digital Storytelling」
11:00-13:00	ワークショップ① 「デジタル教材作成：ハードウェア編」
（昼食はご持参ください。大学の生協は営業しています）	
14:00-15:30	ワークショップ② 「デジタル教材作成：ソフトウェア編」
15:45-16:45	プレゼンテーション
16:45-17:00	閉会

◆内容：まず、日本語学習の場でありがちな教師と学習者を例に取り、どこに問題があるのか、それに対してデジタル教材作成で何ができるかについて話し合います。次に、神戸大学の授業で行っている Digital Storytelling 作成を例に、画像や音声の簡単な取り込みと映像のデジタルビデオ編集を体験し、教材を作成するワークショップをグループごとに行います。そして、それぞれのグループが作成した教材を発表してお互いに評価します。

◆会場：[神戸大学留学生センター](#) 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

◆講師：リチャード・ハリソン（神戸大学留学生センター）、實平雅夫（神戸大学留学生センター）

◆定員：30名

◆対象：日本語教育に携わっている方（参加者の普段のパソコンOSはWindowsの方もMacの方もご参加いただけます）

◆受講料：会員4,000円、一般5,000円、学生3,000円 ※払い込まれた受講料はお返しいたしません。

また、団体会員、賛助会員の会員価格適用は1団体1名様までとさせていただきますので、ご了承ください。

◆申込締切：2009年5月8日（金） ※ただし、定員になり次第、締切り日以前でも募集を終了いたします。

◆**申込方法**：下記より参加申込書をダウンロードして記入し、EメールまたはFAXで事務局までお送りください。参加申込書が到着次第、折り返しEメールにてご連絡いたします。参加申込書を送って1週間以上たっても何も連絡がない場合は、未着の可能性がございますのでお手数ですが再度ご連絡ください。

※メールで応募する場合、メールタイトルは「**神戸研修（5月16日）申込**」としてください。

◆**参加申込書**：[MS Word](#) [PDF](#)（ダウンロードしてご利用ください）

※応募書類は返却いたしません。またこの募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆**申込書送付先と問合せ**：（社）日本語教育学会 教師研修委員会 事務局

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp